

Panasonic  
i-PRO ネットワークカメラ WV-S3530J/S3510J/S3130J/S3110J  
V4.70 版 リリースノート

-----  
目次  
-----

[変更履歴](#)  
[ダウンロードファイルについて](#)

-----  
変更履歴  
-----

## Ver V4.70ES

### <機能追加>

- 生産工場でプリインストールされる電子証明書を「DigiCert 社」から「Global Sign 社」へ変更。本バージョンアップのみでは変更されません。セキュア通信を実施されている場合の影響などの詳細については、[こちら](#)を参照ください。

### <改善項目>

- 映像管理ソフトウェア ASM シリーズとの接続時、カメラへの配信開始／配信停止の要求コマンドを短時間に繰り返し実施した場合に再起動する現象の改善
- セキュリティ強化の実施

## Ver V4.60ES (項目末尾に「\*」が付いている内容は、別途「[追加情報チラシ](#)」に説明があります)

### <機能追加>

- 管理者登録時のブラウザの言語設定を日本語以外に設定した場合、ストリームに関する設定項目の初期値を変更\*
- SRTP(Secure Real-time Transport Protocol)に対応し、設定画面の「ネットワーク」の「アドバンス」メニューに「ON」「OFF」ボタンを追加\*
- 設定画面の「ネットワーク」の「接続モード」の初期値を「自動(おまかせ)」から「DHCP」に変更し、動作仕様を一部変更\*
- ネットワーク設定画面に、ONVIF を有効/無効に切替える機能を追加(初期値は有効)\*
- HTTP アラーム通知機能の以下の内容の改善\*
  - ・Digest 認証対応  
ID/PW 無しで初回アクセスし、サーバーからの応答を元に Digest/Basic のいずれかで認証する。
  - ・サーバーとのユーザー認証失敗時のシステムログ追加  
認証エラー時、「<HTTP アラーム通知> 認証エラー」のシステムログを表示する。
  - ・HTTPS での送信機能  
通知先に、“https://”を設定した場合、HTTPS のサーバーと判断し HTTPS でのアクセスを実施する。
- 設定画面の「ネットワーク」の「接続モード」の初期値を「自動(おまかせ)」から「DHCP」に変更し、動作仕様を一部変更\*

### <改善項目>

- HTTP/HTTPS 接続選択画面に「HTTPS」接続時に最大配信量が<sup>1</sup> 16Mbps に制限される注意事項を追記
- 端子アラーム発報後の無検知時間完了までにアラーム Off にするとアラームを検出しなくなる現象の改善
- JPEG 録画中に稀にカメラが再起動することがある現象の改善
- ライブ画の画面内表示文字に全角括弧「( )」が表示されない現象の改善
- 高解像度、あるいは高ビットレート配信時にネットワークご使用環境によって、稀に UDP 接続が切れることがある現象の改善
- セキュリティ強化の実施

## Ver V4.50ES

### <改善項目>

- 通信方式を HTTP から HTTPS に変更する際、ビットレート値が 4Mbps 以上に設定されていた場合、配信性能を加味して自動的に 4Mbps を上限としていた動作を、元の設定値に従って動作するよう変更し、運用環境に応じた設定ができるよう改善
- ネットワークディスクレコーダーを用いたシーケンス運用や、映像管理ソフト WV-ASM シリーズでライブ取得先をカメラに設定したシーケンス運用など切替動作を続けた際、カメラの内部処理が一時的に滞る場合があり、安定して処理を継続できるよう改善

## Ver V4.31ES

### <改善項目>

- 「撮像モード」が「30fps モード」(初期値)設定時、概ね 2 年以上通電を続けた際、映像が明暗を繰り返す現象を改善 (「60fps モード」設定時は概ね 1 年以上)

## Ver V4.30ES (項目末尾に「\*」が付いている内容は、別途[追加情報チラシ](#)に説明があります)

### <機能追加>

- SNMP に関する設定に「SNMP トラップ設定」を追加\*
- SNMP v1/v2 のアクセス制限機能を強化\*

### <改善項目>

- SNMP で応答する日付の応答文字列が正しく送信できていなかったため、送信形式を「DateAndTime」型に修正
- Internet Explorer 以外のブラウザに「SD 再生」を対応 (詳細は[こちら](#))
- サポート URL 変更の為、URL の変更及び QR コード、Data\_Matrix.コード画面を変更
- CA 証明書をインストールした際、インストール画面が小ウィンドウとタブで 2 つ立ち上がる現象の改善
- 携帯端末用の「/cam」画面において、未公開時間から公開許可時間になった際に、画面リロード後、「/cam」画面にならずに通常のライブ画表示になる現象の改善
- Windows10 における、HTTPS 接続における再接続時の応答改善
- 「映像」の設定画面において、解像度を設定すると、「ビットレート」が 3Mbps に変更される現象の改善
- セキュリティ強化を実施
- Windows10 のファイヤーウォール設定で UDP をブロックしていることにより、ブラウザのライブ画面で動画を表示すると黒画になる現象があるため、「インターネットモード」の初期設定を「OFF」→「ON」に、「プラグインソフトウェア」の「ライブ画スムーズ表示」の初期設定を「ON」→「OFF」に変更する\*
- RTPoverRTSP で動画(H.265)配信時、配信先のネットワークディスクレコーダーなどの LAN ケーブル抜け(または電源 Off)などにより、ネットワーク接続が切れた場合、稀に意図せぬ高負荷状態になり、画面の切替が遅くなったり、画像更新が遅くなることのある現象の改善
- 稀に SD カードがライトプロテクトされていないにもかかわらず、ライトプロテクトされていると誤判定され、録画できなくなることがある現象の改善
- 表示用プラグインソフトウェア(ActiveX)内に記載されている旧社名を新社名に変更

## Ver V4.25ES

### <改善項目>

- メモリ内の送受信処理の不備により、稀に意図しない再起動が起こることがある現象の改善
- メモリ内の死活監視処理の不備により、稀に意図しない再起動が起こることがある現象の改善
- ライブ画表示の際に、稀に画像が黒くなってしまうことがある現象の改善

## Ver V4.23ES

### <改善項目>

- 機能拡張「i-VMD 検知」「顔検出」を IE 以外のブラウザに対応(ライブ画、設定画面)(詳細は[こちら](#))
- 表示用プラグインソフトウェア(ActiveX)内に記載されている旧社名を新社名に変更
- 機能拡張の「顔ベストショット」を有効にした状態で再起動するとフォーカスが合わなくなることがある現象の改善 (S3510J、S3110J のみ)

## Ver V4.22ES

### <改善項目>

- V4.20 へのバージョンアップ後に CPU 負荷が増加することがある現象の改善

## Ver V4.20ES

### <改善項目>

- FTP/SNMP 認証時に一定の条件以上の認証に失敗した場合にシステムログに「認証エラー」のログを記載
- IP 簡単設定ソフトウェア (Ver4.31R00)に対応し、機器の製造番号を表示
- SNMP の MIB 情報を強化 (開発用資料の[ダウンロードページ](#)より入手ください)
- 撮像モード変更時に録画が停止しないことがある現象の改善
- 画面の下部でラインクロス検知が動作しないことがある現象の改善
- IE の互換表示設定時、動作検知画面の VMD のスライドバーが動かない現象の改善
- 稀にメモリアccess異常で再起動することがある現象の改善

## Ver V4.11ES

### <改善項目>

- 映像管理ソフトの顔検索履歴データの表示に使用される顔ベストショット画像が、稀に正しく作成されないことがある現象の改善
- H. 264 または H. 265 の録画配信をしない状態で、ネットワークディスクレコーダーまたは映像監視ソフトウェアによるライブシーケンス表示を行うと、稀にカメラが再起動することがある現象の改善 (2019/7/10 一部記載内容修正)

## Ver V4.10ES

**(本バージョンへのバージョンアップには、V4.01 を経由した 2 段階のアップデートが必要です。詳細はこちら)**(2019 年 6 月 10 日 記載誤りのため削除)

### <改善項目>

- 2 つのセッションを同時に接続した際に、片方の認証が通らずに、音声聞こえなくなるがある現象の改善
- セキュリティ強化を実施
- DDNS 設定画面の「ダイナミック DNS Update (DHCP 連携なし)」「ダイナミック DNS Update (DHCP 連携)」の際に注記文言を画面内に記載
- 画面内文字を 2 階調からグレースケールに変更し滑らかな文字表示に改善
- 機能拡張ソフトの「i-VMD」使用時に、付加情報に妨害検知情報を追加
- バージョンアップ画面に オープンソースソフトウェア(OSS)のライセンスを表示
- 顔認証サーバーソフトウェア WV-ASF950 などとの連携で顔検出を行った際の「マスクを装着した顔」の検出能力の改善
- SD メモリーカードの上書き録画中に最も古いログリストを開き、参照するとファイルが見つからない現象の改善
- ストリーム 1 のみ暗号化を行い、音声配信を AAC-LC、録音同時録画を行い、ライブ画→設定画面→ライブ画の画面切り替えを行うと再起動する現象の改善
- Internet Explorer 以外のブラウザに一部対応 (詳細は[こちら](#)) (2019/7/10 記載漏れのため追記)

## Ver V4.01ES

### <改善項目>

- SD メモリーカードへの上書き録画を On にしている時に、最も古い録画データを再生しようとしても再生できないことがある現象の改善
- PoE インジェクター、もしくは、外部電源(AC24V/DC12V)で起動後に、PC やハブと接続しても通信できないことがある現象の改善

## Ver V4.00ES

**(項目末尾に「\*」が付いている内容は、別途[追加情報チラシ](#)に説明があります)**

### <機能追加>

- 「オーバーレイ画像」機能を追加\*

## <改善項目>

- 日付・時刻の画面内文字の見やすさを改善\*
- FTP 定期送信エラー時の保存先が変更できないことがある現象の改善
- ネットワーク設定画面の HTTP の最大セグメント設定で以下の機能を連動させる
  - ・顔ベストの JPEG 配信
  - ・HTTP アラーム
  - ・みえますねっと(アクセステスト)
  - ・みえますねっと(通知)
- SMTP サーバーの設定内容がカメラ再起動後に設定前に戻ってしまうことがある現象の改善
- セキュリティ強化を実施
- サポートページ URL の変更 (http→https) に伴うリンク先変更
- スケジュール設定画面に以下の注意文を記載。  
『「動作検知許可」は検知させたい期間を指定する際に必要です。常時検知させる場合は設定不要です。』
- ログリスト画面のログ削除ボタンをクリックした際のアラート表示を以下の内容に改善。  
「検索結果のログと画像を、ログ表示されていないページを含めて削除します。(要因および期間で選択された全てのデータが消去されます。)」
- 録画データをログリストからダウンロードする際に、当該時刻の 1 つ前のログの録画データがダウンロードされることがある現象の改善
- SD カードへの JPEG 上書き録画中に削除不可能なファイルができた際に、カメラ再起動してしまうことがある現象の改善
- 電源 OFF から ON にした際に、まれに RTC 通信が正常にできないことがある現象の改善
- ログリスト画面での SD カードデータ削除時、再生画面を表示中に削除できないデータが残ることがある現象の改善
- 顔検出／顔ベストショット有効時に動的変更 CGI を受信するとカメラが再起動することがある現象の改善
- overRTSP 接続でネットワークが切断された後、2 分以内に配信方式 (H.265/H.265) の設定変更、解像度の変更を実施すると、変更完了前のストリームが配信されてしまうことがある現象の改善
- タブレット用画面の「SDREC」ボタンの視認性を改善
- セキュリティ強化に伴い、設定データの暗号化方式を変更\*  
※Ver4.00 以降でバックアップした設定データを、Ver4.00 より前のバージョンで動作するカメラにリストアすることはできません。

## Ver V2.02ES

### <改善項目>

- レコーダ接続時に AAC-LC 音声を配信している際に、モニタに表示しているライブ映像が停止することがある現象の改善

## Ver V2.01ES

- 初版

---

### ダウンロードファイルについて

---

s3130\_\*\*\*ES.zip は WV- S3530J/S3510J/S3130J/S3110J のファームウェアです。  
ダウンロード後、ファイルをダブルクリックし解凍(拡張子「img」)にしてバージョンアップにご利用ください。

※バージョンアップの手順は、各機種の取扱説明書を、ご参照ください。